

経営比較分析表（令和5年度決算）

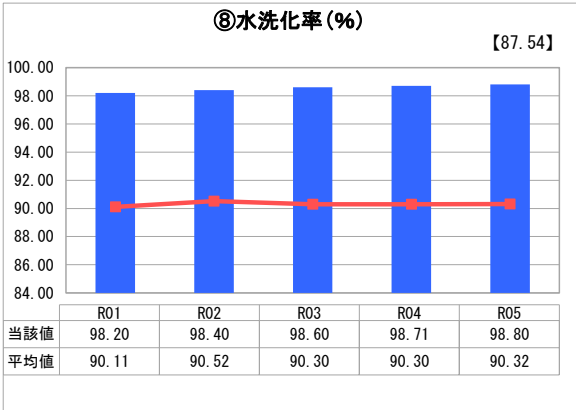
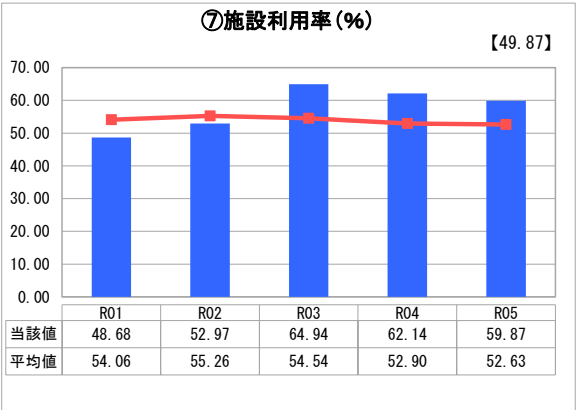
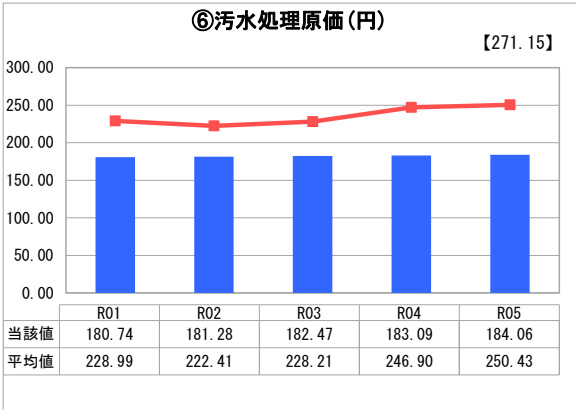
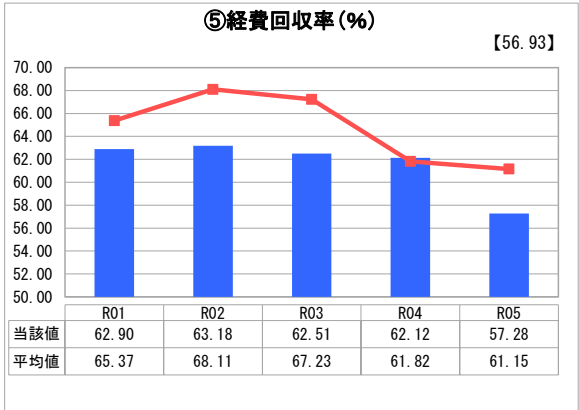
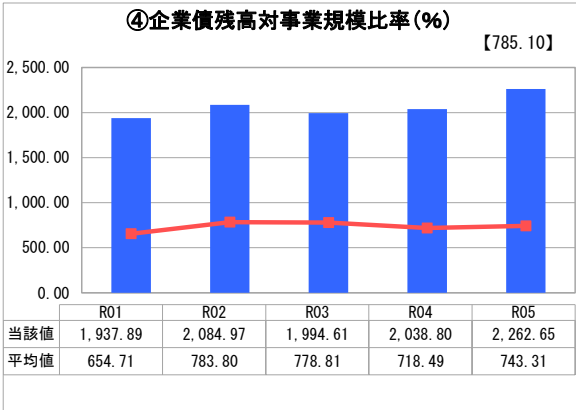
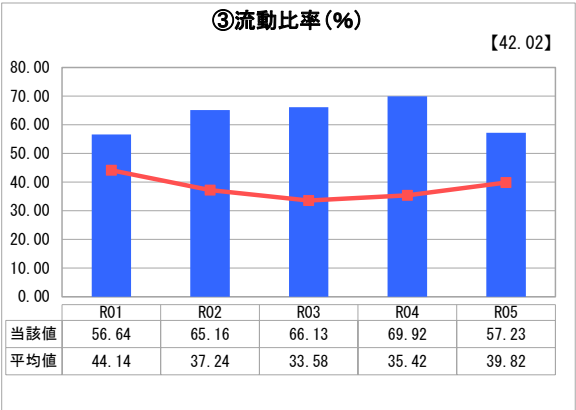
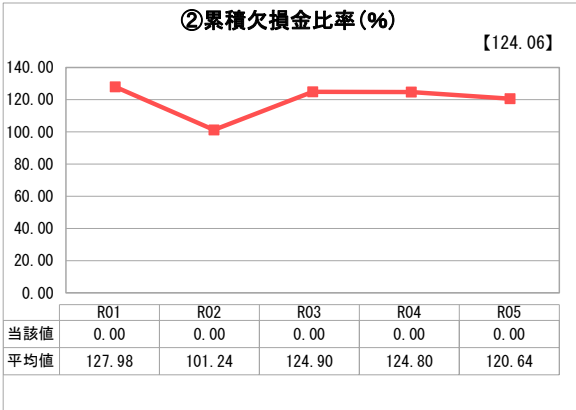
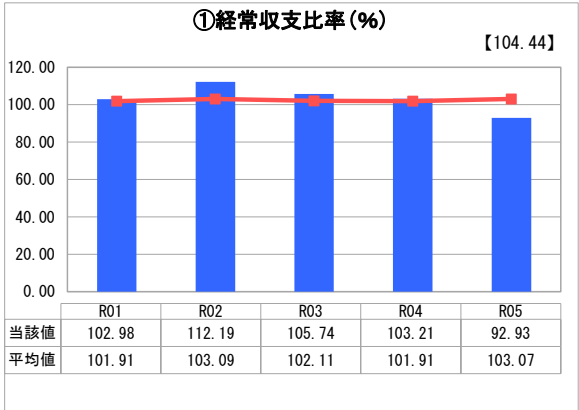
石川県 かほく市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	26.39	11.57	93.46	2,442

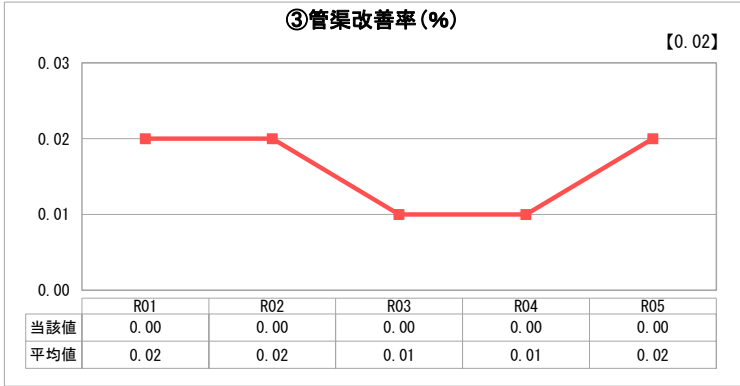
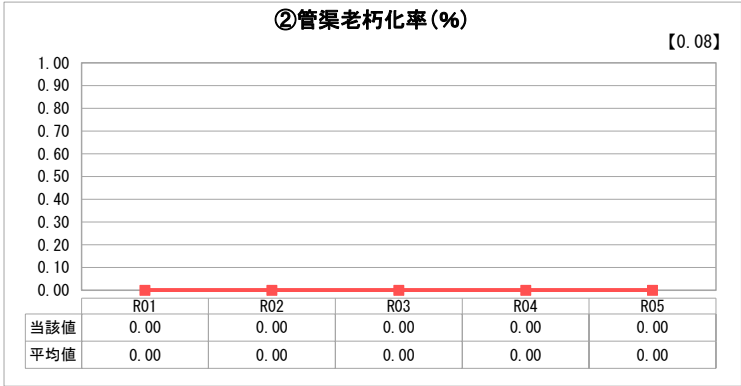
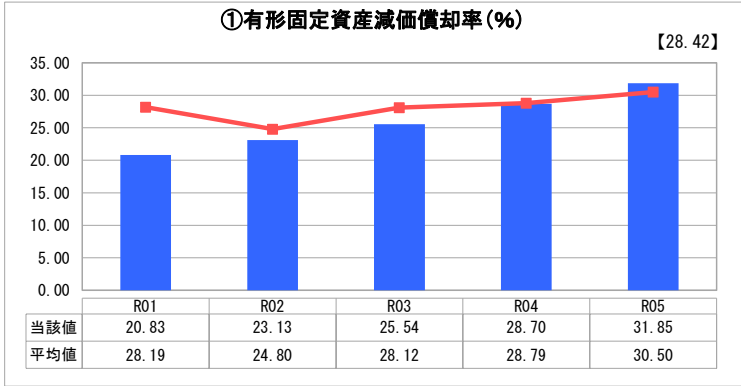
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
36,024	64.44	559.03
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,165	1.75	2,380.00

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は92.93%であり、黒字を示す100%を下回った。収入については一般会計からの繰入金の前年度に比べ減額となっている。理由は公共下水道区域における令和6年能登半島地震の被害が大きく、公共応急工事費の資金として繰入するため、農業集落排水事業分を減額したためである。

経費回収率は57.28%で前年度に比べ減少しており、災害に伴う使用料減免により使用料単価が下がったことが原因である。

企業債残高対事業規模比率が類似団体平均値に比べて高い状況であり、設備投資に対し需要家数が少なく、大幅な使用料収入も見込めないため、経営状況は極めて厳しい。事業実施の際は、補助金等の財源確保に努めているが、不足分については一般会計からの繰入により事業運営を行っている状況である。

2. 老朽化の状況について

管渠については現在のところ耐用年数を超過したものはないが、今後もカメラ調査による診断などを行い適正管理を行っていく予定である。施設利用率は59.87%であり、類似団体平均値を上回っており、統廃合事業により施設数が減少したことが要因である。今後も年次計画に基づき、統廃合を主とした工事を実施していく。

全体総括

使用料収入については、区域内人口の減に伴い減少傾向にある。事業経営については、一般会計からの繰入に依存しているが、繰入金については年々減額となっている。料金水準の適正化による収入の確保が喫緊の課題である。

今後は引き続き施設の統廃合や老朽化対策等を行い、より一層の経営改善に努めていく。

また災害復旧工事についても令和10年度完了を目標とし迅速に進めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。